

第114期 株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日（中間期）



感動を、次々と。

Every Day, Special!



ミツウロコグループの事業領域

エネルギー事業	電力事業	フーズ事業
LPガスを中心に、石油製品、住宅設備機器、通信サービス“ミツウロコ光”、太陽光発電システムなどのインフラ事業を展開しています。	風力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの発電事業者として、地球環境改善・エネルギー自給率の向上・地域との共生を目指しています。	清涼飲料水の製造・販売、施設内販売およびカフェテリア、バーガーレストランチェーン、ポランタリーチェーンストア、スクラッチベーカーリー・カフェの運営等を手掛けています。
リビング&ウェルネス事業	海外事業	その他事業
オフィスビル、商業施設などの開発・賃貸や、リビング&ウェルネスをテーマとした商業施設の運営を行っています。	日本国外における事業投資や支援業務およびレンタル収納事業を行っています。	事務用機器や情報通信機器などのリース事業、業務サポート事業、保険代理事業などを行っています。

DATAで見るミツウロコグループ

売上高	従業員数	再生可能エネルギー発電量／年間
2,500億円	第113期連結 2021年4月1日～2022年3月31日 1,755名 2022年9月末	2億5千万kWh
経常利益	エネルギー事業店舗数	LPガス供給軒数
29億円	第113期連結 2021年4月1日～2022年3月31日 74店舗 2022年9月末	約80万軒 2022年9月末
設 立	フーズ事業店舗数	
1926年(創業1886年)	197店舗 2022年9月末	



**国内外の多様な環境変化に即応しつつ、
コーポレートガバナンスの高度化および
サステナビリティへの取り組みを推進し、
持続的成長および
企業価値向上に努めてまいります。**

代表取締役社長 グループCEO
田島 晃平

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及や行動制限の緩和により、国内の人流は増加し社会経済活動の正常化に向けた動きが着実に進んでおります。しかしながら、為替市場における急速な円安進行による物価高騰、世界的な金融引き締めによる海外景気の悪化等への懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

電力・ガス自由化以降はエネルギー市場の垣根を越えた総合エネルギー市場が創出され、革新的技術の導入や事業者間の競争の進展、異なるサービスの融合等のイノベーションの創発を通じ、エネルギー選択の自由度拡大や料金の抑制等、消費者の利便性の向上が進みました。さらに、世界規模での脱炭素化の要請、自然災害の頻発化・激甚化に伴うエネルギー安定供給のためのインフラ強靱化の要請の高まりに

加え、ウクライナ情勢による資源価格の高騰、国際的な需給構造の変化、少子高齢化や人口減少による需要変化、コロナ禍における生活様式の変化等、当社グループを取り巻く経営環境は急速に変化しております。

このような状況下、エネルギー事業者は環境適合、安定供給、経済効率の観点から、サステナブルな社会に向けた低炭素化・脱炭素化、安全・安心な社会に向けたレジリエンス強化、安定供給継続・事業継続に向けた経営基盤の強化等を高度かつ迅速に進めることが必要と考えております。

当社グループの主力のエネルギー事業においては、堅実な事業基盤のもと、地域に根差したグループの総合力を活かし、地域の安定供給を担う主体として、有事にも対応可能な供給インフラの維持と整備を図るとともに、お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせた様々な取り組みを行っております。当社の連結子会社である株式会社ミツウロコヴェッセルは、米国の国際NGO団体が認証するカーボנקレジットで、LPガスの採掘から燃焼に至るまでに発生するCO₂をオフセット（相殺）する「カーボンニュートラルLPガス」の販売を開始いたしました。

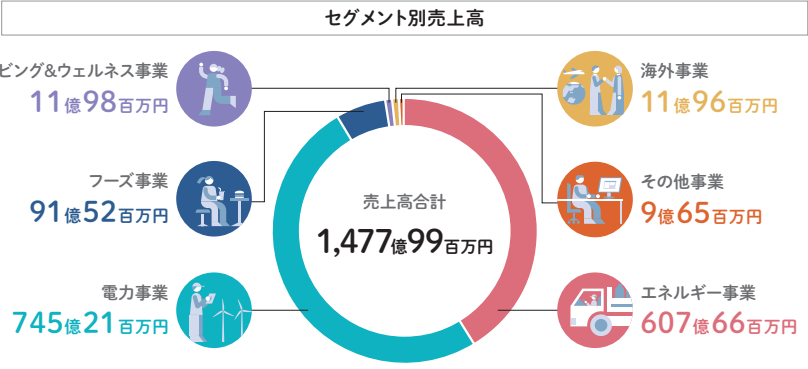
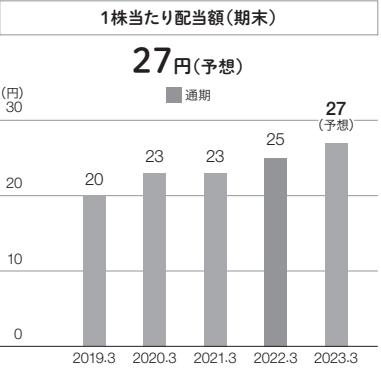
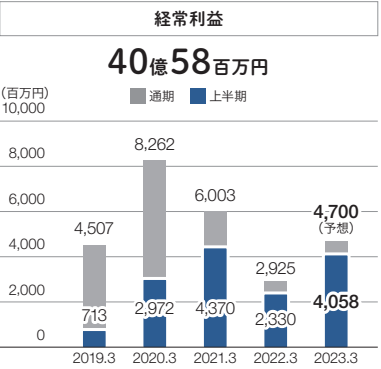
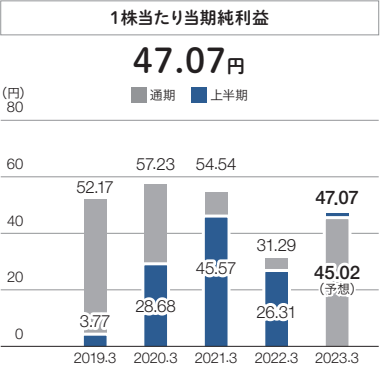
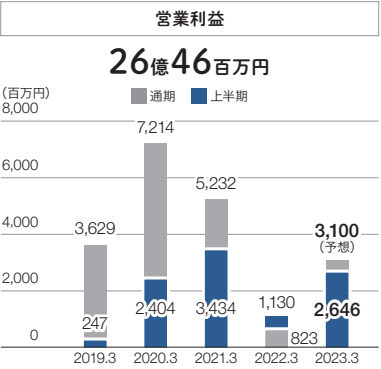
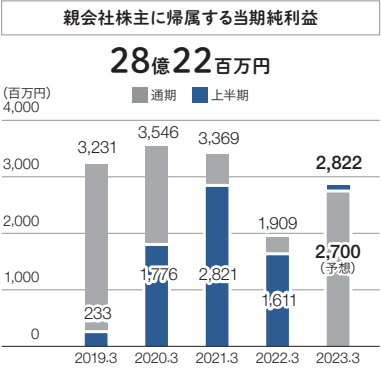
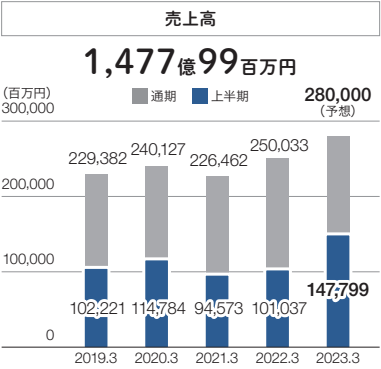
ミツウロコグループは、ミツウロコグループ全体の顧客体験価値（カスタマーエクスペリエンス、CX）を向上させるデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）の推進を目的に、eGiftプラットフォーム事業を展開する株式会社ギフティと、DX戦略推進パートナーシップを2022年5月31日に締結し、グループ内の複数ブランドで利用できる「共通eGift」の販売を開始いたしました。グループ横断的視点でのマーケティングを推進し、ミツウロコグループが提供しているエネルギー、電力、フーズ、リビング&ウェルネス等の様々な分野のサービスや有形無形資

産をデジタルによりエコシステム（経済圏）化することで、グループとしての総合的な競争力を高めてまいります。

なお、2022年4月4日に行われた東京証券取引所の市場再編について、当社は、市場の動向ならびに当社を取り巻く経営環境の変化のスピードや状況を踏まえ、限られた経営資源を既存の主力事業のみならず「環境領域」、「カーボンニュートラルの実現」および「グローバル対応領域」等における新たな事業投資や事業開発、組織強化ならびに人財育成に傾斜配分することで、中長期的な企業価値向上に取り組むことが、株主利益の向上を図る上で最適な選択と考え、4月より「スタンダード市場」に移行いたしました。当社はこれからも、コーポレートガバナンスの高度化およびサステナビリティへの取り組みを推進し、持続的成長および企業価値向上に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績としては、当社のコア事業の一つである電力事業において電力小売ユーザー数の増加ならびに仕入原価の上昇を受けた販売価格の改善および適正化が進みました。さらに、前第4四半期連結会計期間からグループ連結決算に加わったGeneral Storage Company Pte.Ltd.および静岡ミツウロコフーズ株式会社の堅調な業績がグループ全体の業績へ貢献しました。これらの要因等を背景に、売上高は前年同期比46.3%増の1,477億99百万円、営業利益は前年同期比134.1%増の26億46百万円、経常利益は前年同期比74.2%増の40億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比75.2%増の28億22百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動をご理解いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



TOPICS

ミツウロコ株式上場60周年

当社は2022年8月をもちまして、株式上場60周年を迎えることができました。

これもひとえに、お客様からの長年にわたるご愛顧、お取引先様のご協力による事業価値の共創、当社従業員の品質向上に向けた努力、そして株主の皆様からの当社の成長性へのご期待とお力添えなど、すべてのステークホルダーの皆様の長年にわたる温かいご支援・高配の賜物と深く感謝申し上げます。

株主優待eGiftチケットのお引替え・ご利用について

今年度の株主優待制度より、株主様の利便性の向上と、環境に配慮したペーパーレス化推進の一環として、従来の紙の商品券から電子ギフト券(以下「eGift」)の贈呈へ移行いたしました。また一層多くの株主様へ当社グループの商品・サービスをお届けすべく、実店舗だけでなく各オンラインショップのご利用が可能となりました。eGiftのご利用にあたっては、オンラインでのお引替え手続きが必要となりますので、まだお引替えがお済みでない株主様は、2022年6月以降に郵送しております「株主優待品ご送付のお知らせ」裏面の「eGiftご利用方法」をご確認の上、お早めにお手続きをお願いいたします。詳細は、当社ホームページの「株主優待制度」をご覧ください。

当社は1962年8月1日、東京証券取引所第2部に株式上場し、その10年後の1972年8月1日に第1部への指定替えを経て、2022年4月4日からは、東京証券取引所の再編に伴い新市場区分である「スタンダード市場」へ移行しております。

これを機に社員一同決意も新たにして、皆様のご期待に沿えるよう一層努力してまいりますので、今後ともご指導、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



IRページはこちら

ミツウロコ 株主優待

検索

1 新たにご優待対象になっていませんか?100株以上保有されている方は優待の対象となっていますのでご確認ください。

2 eGiftは、ご利用前にオンラインでの引替え手続きが必要です。

3 2022年度贈呈のeGiftのお引替え・ご利用有効期限は、2023年6月30日までです。

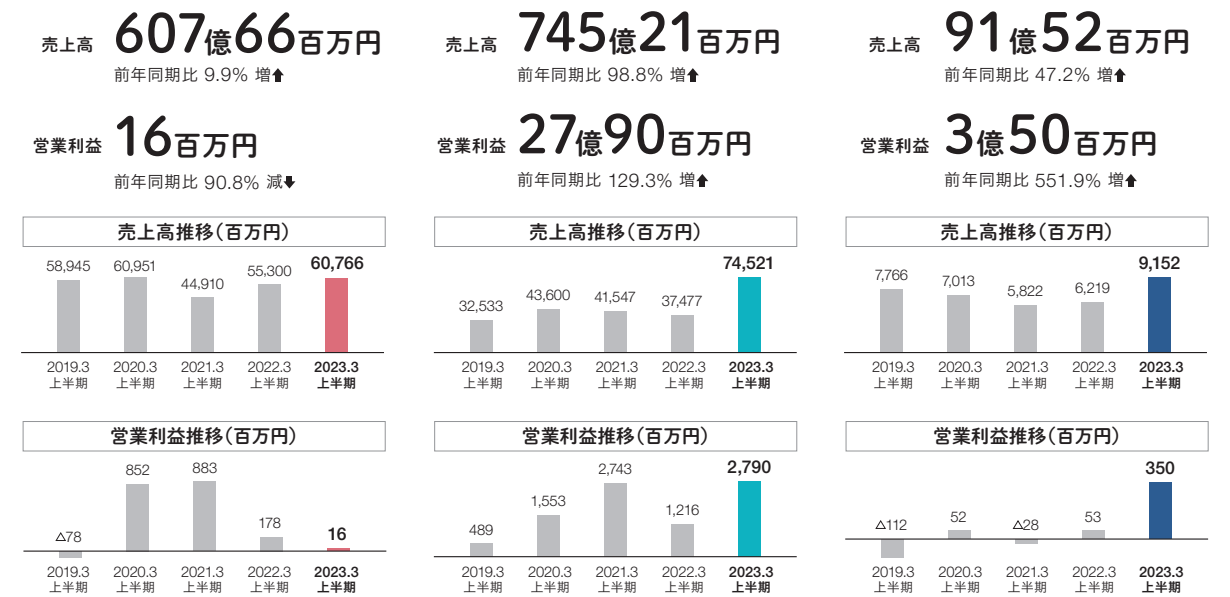
4 「株主優待品ご送付のお知らせ」裏面の「eGiftご利用方法」に記載のQRコード※の再発行はいたしかねますのでご了承ください。

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

事業について

ミツウロコグループは、地球にやさしいエネルギーと生活周辺サービスを中心に豊かなくらしづくりに貢献する企業グループとして「エネルギー事業」、「電力事業」、「フーズ事業」、「リビング&ウェルネス事業」、「海外事業」、事務機器などのリースや業務サポート、保険の取り扱いを行う「その他事業」を展開しています。

※ 前第4四半期連結会計期間より、従来は「その他事業」に含めておりました海外事業について、海外子会社の連結開始により量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前年上半期の数値は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したのになります。



自然から生まれたおいしい水を 安心・安全にお届けしています

株式会社ミツウロコビレッジ
営業部 西日本営業所

吉田 伊織

「ナチュラルミネラルウォーター」を製造・販売

私は中学ではソフトボール、高校ではハンドボール、大学では合気道に励み、食べたり飲んだりすることが大好きなスポーツ少女として過ごしていました。大学を卒業後は大阪の飲料会社に就職。じっとしていられない性格から、営業職を志望し社会人生活のスタートをきりました。営業活動はやってみたら楽しいですし、携わることが出来た事は、とても良い経験であったと感じています。しかし家庭の都合で勤務していた会社を退職することとなり、地元の岐阜に戻った際に、取引先の担当者として面識のあったミツウロコビレッジの現在の上司に誘われたことがご縁で、今に至っています。

転職をして驚いたのが、規模の違いです。前職では10〜20ケースの小ロットで販売をしていましたが、現職ではトラック1台分を納品するなど大規模なため、やり方を覚えるまでは大変でした。また、数字に対してもシビアです。常に成長を目指し、そのためには何を

しなければならないかを逆算して月間目標を掲げています。その数字を追いかけるのは厳しい道のりですが、やりがいも感じています。

これまでは、ホテル、飲食店、スーパーマーケットなどヘナチュラルミネラルウォーターのプライベートブランドを提案してきました。自分が苦勞をして提案したものが世に出ると、達成感がありますし、実際に雑誌とかテレビに出ているのを見るとやはり嬉しいものです。仮に自分が携わっていなくても、当社の商品を見かけると誇らしく思います。

私はホテルをメインに担当しているため、コロナ禍における販売はかなり厳しいものでした。せっかく大きな契約を締結したにもかかわらず、コロナ禍で売上が激減してしまったケースもありました。最近はSDGsに注目が集まっています。これまで当社はペットボトルのみの扱いでしたが、今後は100%再生ペットボトル、ボトル缶、紙パックなどの提案が増えていくでしょう。

静岡ミツウロコフーズと連携して ミネラルウォーター以外の製品も提案

当社のメインの製品はミネラルウォーターです。会社幹部からも「フーズ事業の柱だ」と言われており、それがミツウロコビレッジ社員全員の共通認識です。そこに静岡ミツウロコフーズが加わったことで、ミネラルウォーター以外のお茶、コーヒー、果汁飲料、炭酸飲料なども扱えるようになりました。静岡ミツウロコフーズは大手飲料メーカーの要望を満たす高い技術力を保有しており、長い間OEMを中心とした事業を展開していた組織です。静岡ミツウロコフーズが私達の仲間に加わったことで、これまでにない領域に進出することが可能となりました。ミネ

ラルウォーター以外の製品を扱うことは、これまで以上にお客様の多様なニーズに応えることにつながります。私たちはこの新たに与えられた武器を最大限活用するため情報共有を活発に進めることで、日々変化するマーケット動向に対応しています。

女性営業職が働きやすい 環境づくりを目指す

ミツウロコグループでは月に1度、各会社から数名ずつ女性社員を集めて女性活躍推進に関するディスカッションをしています。例えば、女性の場合子育て等で時短勤務をする社員も多いのですが、一般的には「管理職は責任の範囲が広く、拘束時間が長い」というイメージがあり、それらを改善しない限り女性管理職は増えないと思います。制度についてもスキルアップやフレックスタイム制の導入などが議題に挙がっています。

入社後の仕事が合わず辞めてしまう新入社員もいますが、たまたま配属された部署が合わないだけで退職してしまうのはもったいないと思います。悩んでいる社員のケアやフォローアップをし、グループ会社の横のつながりを活かして様々な経験をさせてあげたらという意見もありました。

一般的に食品関係の会社は男性の営業職が多く、当社においても女性営業職は現在私一人です。女性の営業職が増えれば、男性にはないアイデアが増えて多様化が進むと思います。もっと女性の営業職が働きやすい環境を作っていく必要があると感じています。

そして、これからも「ミツウロコビレッジに依頼をしてよかった」と言ってもらえるような製品を作っていきたいと思います。



不動産の開発・賃貸により 安定したキャッシュフローを創出

株式会社ミツウロコ
不動産事業部 開発・AMチーム

川上 千晶

社内制度が充実していて 安心して働ける職場です

私は2019年4月に新卒でミツウロコヴェッセルに入社しました。ミツウロコグループを選んだ理由は、様々な事業を幅広く展開している点が興味深かったからです。会社説明会でオフィスを訪問した際に社員の方々と話をさせていただき自分にすごく合っている会社だと感じました。初年度は研修期間後、各部署をローテーションで経験しました。そして、9月に配属されたのがミツウロコの不動産事業部でした。同期入社8名のうち私を含めて2名が配属されたということは、それだけ不動産事業に力を入れ始めている時期だったのだと思います。配属当初は新卒の2名、営業担当、経理担当、事業部長の計5名体制でした。いきなり新人を2名も抱えて、上司はかなり大変だったでしょう。

不動産業界は用語が難しく法令など覚えることがたく

さんありますが、先輩やお取引先様から教えてもらいながら学んでいきました。2年目からは新型コロナの影響で在宅勤務が増えて精神的に辛い時期もありましたが、紹介された物件の現地調査および報告をするなどの経験を積むことができました。空いた時間で必死に勉強し、宅地建物取引士の資格も取得しました。

ミツウロコグループに入社して感じたのは、良い意味でガツガツしていないというか、柔らかくて親切な人が多いという印象です。社内制度や福利厚生も充実しており、心理的安全性が高く、とても働きやすい職場です。残業をすることは減多にありませんし、申請をすれば休暇も自由に取れます。部署の先輩もすごく優しく、わからないことは何でも教えてくれます。小さい部署のため人と人との距離が近く、時には直接部長に質問することさえあります。ホールディングスの方も素敵な人ばかりで、コミュニケーションにおいてストレスを感じることはありません。ただ、ホールディングス以外の会社とは横のつながりがあまりないので、もっと他の会社とも交流を持ち、グループ全体のことを知りたいと思っています。

3件の賃貸用不動産を取得しました

当社の不動産事業部はこれまで支店の統廃合や工場の廃止などに伴うグループ内遊休資産の有効活用をメインとしていましたが、現在は賃貸マンションを中心に開発・管理・メンテナンスを行っています。私が所属する開発・AMチームの主な業務は、新規物件の調査および取得検討です。その他にも私が担当している物件が都内に5件、仙台

に1件あり、収益力向上に向けた施策立案や運営管理もしています。

不動産は1,000件のうち3件くらいしか成約にならない「千三つ」の世界です。物件の収支計画を立てて提出しても稟議が下りなかったり、検討段階まで進んでも他社が先に取得してしまったり、入社以来3年間は物件取得に至りませんでした。2022年はプラシオ平尾（福岡県福岡市）、ビューハイツ高山（神奈川県横浜市）、コスモリード国分寺（東京都国分寺市）と立て続けに3件の賃貸用不動産を取得することができました。今までの苦勞が報われて、とても嬉しかったです。先日無事に引き渡しも終わり、一仕事を終えてほっとしました。

新しいことに挑戦できる環境です

当社は新しい部署がどんどん増えていて、挑戦できる環境が整っており、入社1年目からいろんなことに挑戦させていただきました。現在は後輩もできて教える立場となり、非常に良い刺激を受けています。

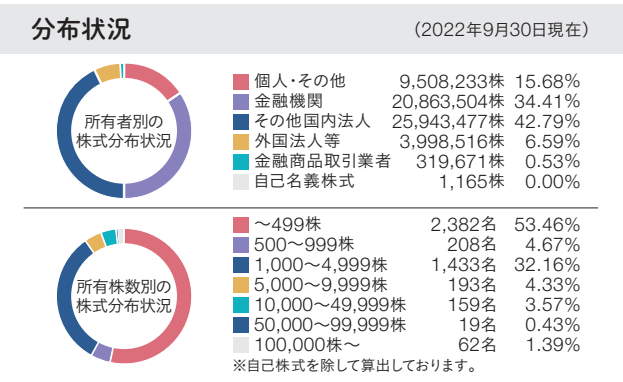
社内には人材開発系の部署もあり、チャットでおすすめの記事を共有するなど積極的に情報発信をしてくれています。月に1回はTeams内で喋りながら昼食をする「オンラインランチ」も開催しており、社内ネットワークが広がっています。

将来的には不動産事業以外の部署も経験したいと考えていますが、不動産開発において土地からの取得という実績がまだないため、それを今後の大きな目標としていきます。

会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	27名／連結：1,755名（2022年9月30日現在）

役 員		（2022年9月30日現在）
代表取締役社長 グループCEO	田島 晃平	
取締役	二見 敦	
取締役 グループCFO	児島和洋	
取締役	坂西 学	
取締役	川上 順	
取締役	大森基靖	
取締役 グループCTO、グループCIO、グループGCIDO	ゴ ウィミン	
取締役（社外）	柳澤勝久	
取締役（社外）（独立）	松井 香	
監査等委員である取締役（社外）（独立）	菅原英雄	
監査等委員である取締役（社外）（独立）	河野義之	
監査等委員である取締役（社外）	田嶋 圭	

株式の状況		（2022年9月30日現在）
発行可能株式総数	197,735,000株	
発行済株式の総数	60,634,566株	
株主数	4,457名	



上位株主			（2022年9月30日現在）
株主名	持株数（株）	持株比率（％）	
ENEOSホールディングス株式会社	5,064,040	8.35	
明治安田生命保険相互会社	4,990,000	8.23	
田島株式会社	4,327,000	7.14	
損害保険ジャパン株式会社	3,681,173	6.07	
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口	3,024,400	4.99	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （信託口）	2,816,400	4.64	
リンナイ株式会社	2,682,464	4.42	
橋本産業株式会社	1,926,500	3.18	
全国ミツウロコ会持株会	1,756,784	2.90	
株式会社パロマ	1,685,124	2.78	

（注）1.当社は自己株式を1,165株（株式給付信託（BBT）に関する株式会社日本カ
ストディ銀行（信託E口）が所有する当社の株式567,900株を除く）保有して
います。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、株式給付信託
（BBT）に関する株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有する当社の
株式は、持株比率の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式から
は除外しています（当連結会計年度末567,900株）。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www. mitsuuroko.com/)に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他 のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞 に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合わせ先			
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	みずほ信託銀行株式会社	証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）		
ご注意	住所変更、単元未満株式の買取および買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。 ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、 特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。		
	証券会社にて口座をお持ちの場合	証券会社等にて口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）	
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）	
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店、みずほ銀行 本店および全国各支店		
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等にて口座 をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い 合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等にて口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。	

株主総会資料電子提供制度のお知らせ

2023年3月以降開催の株主総会より
「株主総会資料電子提供制度」が開始されます

- 株主総会資料が原則ウェブ化され、株主総会資料の全文はウェブサイト
にアクセスしての確認に変わります。
- ウェブサイトへのアクセス方法を記載した招集通知と議決権行使書は
郵送にてお送りします。
- インターネットを利用することが困難である等のご事情がある株主様に
おかれましては、書面交付請求手続が必要となります。



本制度に関するよくあるご質問はこちら

https://contact.www.mizuho-tb.co.jp/category/
show/72?site_domain=daikou

書面交付請求手続

- 株主総会資料の書面でのお受け取りをご希望される場合は、「書面交付請
求」のお手続きが必要です。
- 書面交付請求とはインターネットを利用することが困難な株主様を保護
するための手続きです。お手続きをいただいた株主様には株主総会資
料を書面で郵送いたします。
 - お手続きは、株主総会基準日（2023年3月31日）までに完了していただく
ことが必要です。
 - 手続方法等の詳細につきましては、当社株式を預託している証券会社
または下記みずほ信託銀行までお問い合わせください。
みずほ信託銀行 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324
（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）